



日勤動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.2.8 No. 3346



労務強化・キロタイブ廃止

検修合理化粉碎決意

車両技術分科会は、一月二七日(二八日、館山市の民宿「伝平」において、第回定期委員会を開催し、当面する動労千葉の三大方針①九一・三ダイ改阻止、②四月中江選挙闘争必勝、③清算事業団闘争勝利に、地上勤務者は総力で決起することを確認した。

委員会は、石渡副会長の司会で始まり、議長に渡辺常任委員を選出した後、斉藤会長のあいさつをうけ、つぎに、本部より布施副委員長が、この間の九一・三ダイ改をめぐる動きなどについて説明し、①千葉管内六八〇〇キロ増にもかかわらず、全体では三四三キロの減になっており、労働強



1月27・28日、館山市「伝平」において討論と交流を通じ闘争方針決定

化につながることに、②津田沼運転区廃止(運輸区化は動労千葉・国労破壊攻撃であること)、③キロタイブ廃止は、運転保安に重大な影響をおよぼす、など重大な問題であることを強調した。

また、前検修分科会長で清算事業団闘争を闘う林熊吉氏より、「検修の一員として最後まで闘いぬく」と決意が明らかにされた。その後、経過報告、会計報告、一九九〇年度方針、予算が提起され、活発な討論が行われた。

そして、第一日目のしめくくり、本部田中書記長より「JRをめぐる情勢と三月ダイ改II検修合理化粉碎へ向けた取り組み」として、①JR-革マル体制の危機、②エセ時短による労働強化、③キロタイブ廃止の根拠が明らかにされず、解明する必要があること、④新採の不採用にともない技術断層と、これを補う養成体系など、多くの問題が提起された。

第二日目に入り、前日の提起をふまえて多くの意見、質問が出され、①傷害事故の増加、②各種手当の獲得、③交番ユニット体制の問題点、④仕業検査体制の充実と増員、⑤駅配転者を元職場に取り戻す闘いを強める、⑥さらに、種々の要求獲得など、全力で九一・三ダイ改へたち向うことが確認された。

地上勤務者の誇りにかけて春季闘争に起つ!

二月三日、動労千葉家族主催による「太巻寿司」の講習会は、家族、組合員二三名が参加し、真剣な中にもなごやかな雰囲気があった。家族会の親睦を深めました。

この日の講習会の為に講師の水野衣音(いね)さんは、前日から色々と準備され、講習も手際よく進められました。

普段なかなか触れることの出来ない「太巻寿司」という企画も好評で、家



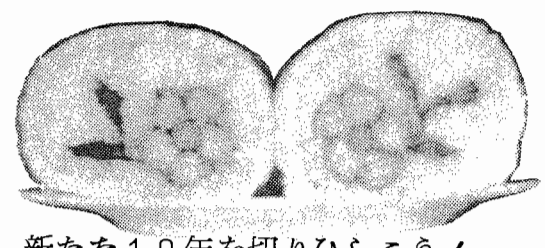
家族会

太巻寿司の講習会
成功裡にかちとる

族会役員の奮闘に拍手が送られました。

講習の後、交流会を行ない、自己紹介や今後の取り組みについて話し合いました。また、自分で作った「太巻寿司」の出来栄は、家に帰ってから各々が見ることにになりました。

最後に、家族会の発展のために皆で頑張ることを誓い、講習を終了しました。



90年代の勝利へ、新たな10年を切りひらこう!